

血液腫瘍科

一緒に血液疾患の治療をしませんか？

血液疾患は難しい？

- 血液疾患は「難しい・わからない」といった印象があると思いますが・・・

今や、白血病やリンパ腫は治る病気

- 最初に染色体異常と腫瘍の関係が解明されたのは慢性骨髄性白血病（CML）です。
- 分子標的療法もCMLや急性前骨髄性白血病（APL）から始まりました。
- Bench to bed、bed to benchが実践できます。
- 診断から治療まで全経過にわたり、患者さんと関わることができます。

島根県中血液腫瘍科の特徴は？

- 血液疾患全般を診ることができます。
- 抗がん薬の使い方、支持療法について勉強できます。
- 多発性骨髄腫（および類縁疾患）の診療、治療に力を入れています。
- 日本血液学会教育認定施設であり、当科での研修で血液専門医の受験資格が得られます。
- 日本血液学会をはじめとする血液関連学会や日本内科学会（主に地方会）で口演発表ができます。
- 同種移植、CAR-T療法は島根大学に依頼をしています。

【特色】

当科は血液疾患全般に対応しています。分子標的薬、二重特異性抗体をはじめとする新規治療薬や新規治療法を臨床に取り入れながら、個々の患者さんの状態に応じた治療を行っています。疾患の状況に応じてはQOLを重視した治療を行い、患者さんがどのような状態でもきめ細やかにサポートを行っています。

全国的な臨床試験や臨床研究に積極的に参加することで、新しいエビデンスの構築などに寄与しています。

【病棟】

8階病棟にclass 100 1室と
class 1000 5室の無菌室があり、
造血幹細胞移植（主に自家移植）や
強力な化学療法を行っています。



島根県立中央病院